平成２８年度　　事務事業評価シート

章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	I	市民の主体的な健康づくり意識の確立
目標		自らの健康は自らが守るという意識を醸成し、市民が主体的に健康づくりに取り組むことにより健康で元気に生活できる期間(健康寿命)」を伸ばす。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27
指標①	メタボリックシンドロームの概念を知っている人	%	－	91.7	－	－	－	90.8	－	94.7

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　健康づくり運動の推進	①　健康づくりを目指した生活習慣の改善	・生活習慣病を予防するため、早い時期から正しい生活習慣を身に付けられるよう健康教育を推進します。
1-②	1　健康づくり運動の推進	②　食を通じた健康づくりの推進	・すこやかな心と体を育む「食」の改善をめざし、食を通じた健康づくりである「食育」を推進します。 ・保健所や食生活改善推進員と連携し、食生活改善に関する情報の提供や学習機会の充実を図ります。
1-③	1　健康づくり運動の推進	③　健康づくり情報と機会の充実	・栄養、運動、休養を中心とした生涯を通じた健康づくりの普及啓発の推進を図ります。 ・健康教育、健康相談、健康手帳の配布、健康通信「きらり」などによる健康づくりのための情報の提供や対策を講じ、市民の健康づくりの意識の醸成を図ります。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
1	1-②	食育事業 12112003	保健福祉部	健康推進G	H22	－	ソフト	一般会計		子育て世代等を対象に食育指導を行うことにより、食生活習慣の大切さを啓発し、生活習慣病の予防を図ることを目的とする。	H26	乳幼児期・学童期の子を持つ親等	食に関する講話や調理実習や、試食などを通して、日頃の食生活の悩みに応える栄養相談・栄養教室を第１子の親を中心に実施した。さらに子育て期にある母親自身の生活習慣病予防とバランス食を中心とした食育の推進のため、休祖成計画定を取り入れた「へるし一親子相談」を試行として実施し た。 【事業実績】 ・もぐもぐ食育広場　第１子対象人数：145人 第１子参加人数： 86人 ・食育親子料理教室　年4回 参加人数： 60人 ・へるし一親子相談　年4回 利用者数： 44人	食育基本法、母子保健法、健康増進法
											H27	上記のとおり	上記に加え、平成26年度に試行した「へるし一親子相談」を年4回から年12回と回数を増やして実施した。 【事業実績】 ・もぐもぐ食育広場　第１子対象人数：143人 第１子参加人数： 53人 ・食育親子料理教室　年５回 参加人数：75人 ・へるし一親子相談　年12回 利用者数：74人	上記のとおり
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
2	1-③	北海道難病連運営事業助成金 12113002	保健福祉部	健康推進G	H9	－	ソフト	一般会計		難病患者とその家族の社会的自立活動を推進し、福祉の向上、増進を図ることを目的とする。	H26	一般財団法人北海道難病連	難病問題の社会的啓蒙と難病に関する正しい知識の普及啓発活動を行っている財団法人北海道難病連に対して助成を行った。 【財団法人北海道難病連の主な活動内容】 ・難病患者等の各団体の育成援助 ・難病患者や家族への療育指導及び相談活動 ・難病に関する調査研究　など	登別市補助金等の事務取扱に関する規則
											H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
3	1-③	健康づくり事業 12113009	保健福祉部	健康推進G	H20	－	ソフト	一般会計		広報紙への啓発紙の折り込みや健康講座の実施等により、こころとからだの健康づくりに関する知識の普及を図り、市民の主体的な健康づくり意識を醸成することを目的とする。	H26	市民	健康通信きらりを作成し、広報紙へ折り込みを行ったほか、こころの体温計の活用や健康教室等の実施によりこころとからだの健康づくりの啓発に取り組んだ。 【事業実績】 健康通信きらりの発行、こころの体温計の活用（ＨＰ）、健康教室（生活習慣病予防　食生活等、自殺予防市民公開講座）健康相談（生活習慣病、栄養等、40歳以上の市民が対象。）	健康増進法、自殺対策基本法
											H27	上記のとおり	上記に加え、若い世代の自殺予防対策として、日本工学院北海道専門学校の学生を対象とした「こころの健康教室」を実施した。 【事業実績】 健康通信きらりの発行、こころの体温計の活用（ＨＰ）、健康教室（生活習慣病予防　食生活等、自殺予防市民公開講座）健康相談（生活習慣病、栄養等、40歳以上の市民が対象。）	上記のとおり
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり

NO	施策	事業名	Plan ・ Do 事業の成果、目標 指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】 名称		H26 決算	H27 決算	H28 予算	H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案
1	1-②	食育事業	もぐもぐ食育広場 第１子参加者割合	%	59.3%	37.1%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	国庫支出金							
											道支出金	健康増進事業補助金			37	37	37	37
											地方債							
			へるし一親子相談利用者数	人	44	74	80	80	80	80	その他	食育事業教材費負担金	18	10	16	18	18	18
											一般財源		191	136	190	192	192	192
		12112003									合　計		209	146	243	247	247	247
2	1-③	北海道難病連運営事業助成金	相談援助人数 ※北海道難病連の実績	人	1,224	1,407	1,000	1,000	1,000	1,000	国庫支出金							
											道支出金							
											地方債							
			医療講演会の開催回数 ※北海道難病連の実績	回	31	20	25	25	25	25	その他							
											一般財源		52	51	51	50	50	50
		12113002									合　計		52	51	51	50	50	50
3	1-③	健康づくり事業	健康教室開催回数	回	11	24	15	15	15	15	国庫支出金							
											道支出金	北海道地域自殺対応緊急強化推進事業費補助金・健康増進事業費補助金	642	290	330	448	448	448
											地方債							
			健康教室参加者数	人	116	378	300	300	300	300	その他	ふるさとまちづくり応援基金積立金繰入金	151					
											一般財源		324	501	758	596	596	596
		12113009									合　計		1,117	791	1,088	1,044	1,044	1,044

NO	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間（H24～H27）及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H29以降】
1	H26以前	子育て期の母親自身の生活習慣予防とバランス食を中心とした食育の推進を目的に各子育て支援センターと協力し、「へるし一親子相談」を試行で実施。	維持	食習慣の基礎が確立する時期において、適切な栄養の知識や調理方法を知ることは、将来にわたる健康づくりや、生活習慣病の予防につながることから、今後も事業を継続することが相当である。	効果的な事業の実施方法について検討しながら継続していく。
	H27	平成26年度に試行で実施した「へるし一親子相談」を開催日数を増やし定例で各子育て支援センターを巡回して実施。			
	H28	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
2	H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	難病各団体の育成・医療・福祉及び生活全般についての相談に応じて療育指導を行ったり、また難病問題の社会的啓蒙と難病の正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者と家族の福祉の増進を図っていることから、今後も事業を維持することが相当である。	難病各団体の育成・医療・福祉及び生活全般についての相談に応じて療育指導を行ったり、また難病問題の社会的啓蒙と難病の正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者と家族の福祉の増進を図っていることから、今後も事業を維持することが相当である。
	H27	上記のとおり			
	H28	上記のとおり			
3	H26以前	スマートダイエット講座を費用対効果の面から平成24年度に廃止している。 平成24年度から自殺対策の取組みを実施。また、平成26年９月には心の体温計をバージョンアップして実施している。	改善	本事業の実施により、健康づくりに関する知識の普及啓蒙を図り、市民の主体的な健康づくりへの意識に働きかけることができることから、対象の拡大や手法の工夫等、随時評価改善をしながら事業を継続していく。 平成28年度は若い世代を対象とした「こころの健康教室」の開催回数を増やし、自殺予防対策に取り組む。	健康通信きらりの配布やこころの体温計の活用等を通して、健康情報の提供を行い、市民のこころとからだの健康づくりを推進していく。
	H27	若い世代の自殺予防対策として、日本工学院北海道専門学校の学生を対象とした「こころの健康教室」を年１回実施している。			
	H28	平成27年度から開始した「こころの健康教室」を年１回実施から、年２回実施とする。			